

熊本地震に関する緊急情報

熊本県連が対策本部設置、被害状況の調査と支援強化へ

熊本県連は15日、熊本民商に「地震対策本部」を設置しました。16日午前、県連三役、各民商事務局長を集めた対策会議を開き、以下の訴えを発出しました。

熊本震災への緊急支援のお願い

2016年4月16日

熊本県連 会長 松尾 正

4日以降、激しい地震が続き、甚大な被害が発生しています。

熊本県連は4月16日、緊急に災害対策会議を開き、対策本部を熊本民商に置くことにしました。

会員の間では、「工場がつぶれて再開のめどが立たない」（鉄工所）、「店内の酒瓶が倒れて全滅状態」（酒店、飲食店）、「繁忙期にポイラーが倒れてどうしようもない」（豆腐店）などの被害が明らかに始まり始めています。

こうした中、全国の県連、民商から「募金を送りたい」「今すぐにも駆けつけたい」など支援の声が沢山寄せられ、激励を受けています。

今後、被災会員への実体調査を行い、営業再開、生活支援の運動を大いに広げていきます。

現在、断水が続き、復旧には時間がかかる見込みとなっています。つきましては、義援金とあわせて、飲料水の支援をお願いします。

熊本県連への義援金をお願いします

ゆうちょ銀行（店名）七一八（店番）718

（番号）2045818 熊商連

全商連の口座

全商連災害対策本部 本部長 太田 義郎（オオタ ヨシロウ）

りそな銀行目白出張所 普通 1236859（店番314）